

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)8月5日号 No.1965

目次

■ 2024年上半期の日ロ貿易	1
■ 統計速報	11
2024年1～3月のロシアの主要経済指標／11	
■ トピックス	15
境港利用促進セミナーが開催／15	
岸田首相、8月9～12日に中央アジア・モンゴル訪問／15	
エストニア、対ロ国境の税関検査を厳格化／15	

2024年上半期の日ロ貿易

はじめに

日本財務省から2024年6月の貿易統計が発表されたことを受け、当会では2024年上半期の日本とロシアの間の貿易に関して、米ドル換算するとともに、輸出入商品構成をまとめた。今回の速報では、若干の解説とともに紹介する。なお、本資料では財務省発表の円表示の貿易統計を独自にドル換算して示している。その際に、図表4、図表6～8、図表10～12は月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げているのに対して、図表5と図表9は期平均レートで単純に換算したものである。従って、各図表は総額が微妙にずれているのでご注意いただきたい。

解説

2024年1～6月のロシアとの貿易額は40億1,451万ドルとなった。これは、60億ドルだった昨年上半期から一転、33.1%の大幅な落ち込みとなった。日系企業のロシアからの撤退や事業停止が続く中、輸出入の制限が一段と進み、エネルギー価格が前年同期と比べ落ち着いたことなどが要因である。このままのペースで推移すると、通年の貿易額が100億ドルを大きく下回る可能性がある。

日本からロシアへの輸出は自動車、鉄鋼・金属製品、石油製品、機械など大半の品目で前年同期を下回り、全体では43.6%減り10億733万ドルに、日本のロシアからの輸入は、液化天然ガス(LNG)、魚介類、非鉄金属など主要品目で前年同期を下回り、28.6%減の30億718万ドルだった。

対ドルの円相場は、年初に比べて約20円も円安が進んだ。6月末には37年半ぶりの円安水準となる1ドル＝161円台の目前まで迫った。2024年上半期の平均為替レートは輸出が1ドル＝150.37円、輸入が150.27円で、前年の平均より10円ほど円安になった。

日本の対ロ輸出の主力品目は、中古乗用車、化学製品、自動車部品、石油製品、機械などであ